

LPガスCP速報(2019年3月積)

1. 3月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン490^{ドル} (前月比+50^{ドル})

ブタン 520^{ドル} (前月比+50^{ドル})

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が年初来高値を更新するなか、中国も春節休暇終了で復帰、インド、インドネシア需要が堅調、供給は減産の影響で中東玉に余剰感が少なく、米国産は濃霧の影響があり積遅れで極東市況は大幅統騰となった。

中東市場は、OPECプラスの協調減産で原油生産量が減少しLPG生産・輸出も削減、スポット販売に余剰感が少ないのに対し中国勢が春節休暇から復帰、インド、インドネシアのブタン需要も旺盛で需給はタイトになった。米国産は濃霧の影響で積遅れ、米国のブタン高もあり、極東CFR市況は、第4週にはプロパン475~495^{ドル}、ブタン515~530^{ドル}に続伸した。フレート市況は、中東積み減少で船舶需給緩和感から軟化も第4週に反発、24~29^{ドル}で推移。

米モンベルビュープロパンスポット価格をみると、原油市況の統騰を受けてスポット価格は堅調に推移、第4週には355~375^{ドル}どころで推移(グラフ①)、月間平均では350^{ドル}どころで前月比5^{ドル}の上昇。全米プロパン在庫(グラフ②)は、記録的寒波の影響で需要が増加、輸出も堅調で減少しているが、前年同期を25%上回り、5年平均のレンジ中央で推移している。

ナフサは原油に追随し堅調推移、月間平均は517^{ドル}、前月比30^{ドル}の大幅統騰。バンカーC重油は原油に連れ大幅統伸、月間平均で414^{ドル}どころ、前月比39^{ドル}高。

3月CPは前年同月比プロパン10^{ドル}、ブタン55^{ドル}それぞれ高い。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン2ポイント、ブタン1ポイントそれぞれ上昇、前年同月比ではプロパン1ポイント、ブタン9ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	24.1	24.4	24.9	29.9	25.8
CP先物指標:P	435	415	465	475	448
CP先物指標:B	460	435	500	510	476

② 原油市況等

WTI市況の推移をみると、年初来高値55^{ドル}台でスタート、米中貿易協議への期待などから株価が反発、リスク回避の動きが弱まり、石油需要の下振れ懸念が後退、22日には57^{ドル}台を回復した。OPECプラスの協調減産効果への期待、サウジが3月減産強化を示したことも市況を下支えした。米国政府の対ベネズエラ国営石油会社(PDVSA)を制裁対象に指定し同国原油の供給減少懸念、対イラン制裁による影響も支援材料。世界景気減速懸念やトランプ大統領のツイッターによるOPEC牽制で急落した場面もあり、ボラティリティも高い。

一方、米国内原油生産量は、シェール増産により過去最高を更新し第4週に1,210万bまで増加、原油輸入は592万b/dの低水準(1996年以来)、原油輸出は過去最高水準で336万に達し原油・石油製品のネット輸出国に。EIAは2020年には30万b/dのネット輸出国になると予測している。原油在庫は高水準、直近の在庫は対前年同期比105.3%。なお、米石油リグ稼働数は年明け後減少傾向続くも、23日時点で853基(前年同期比+54基)と高水準で推移。

NYMEXのWTI総取組高は、200~207万枚で推移。CFTC発表の大口投機玉の買越残高は米国政府機関の一部閉鎖により延期されていたが、2月1日に再開、2月12日分までが発表され、買い越し残は288千枚と2016年11月の水準まで減少、買い建玉の手仕舞い進む。

○2月積みアラビアン・ライト(2月1~27日までで想定)は65.20^{ドル}(前月比+5.38^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン534.57^{ドル/トン} ブタン527.24^{ドル/トン}

AL比 プロパン91.66% ブタン98.63%

*上記ALはEIN推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

2. 2019年3月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	TTS	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	110.89	56,900	60,200	56,700	+3,700	+5,900	+3,000
②末日締め	111.38	51,800	55,100	51,400	+4,000	+6,200	-3,100

* TTS平均について、①が1月21日～2月20日、②2月1～28日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

なお、上記MBは2月27日までの価格を基にEINで試算（349ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

